

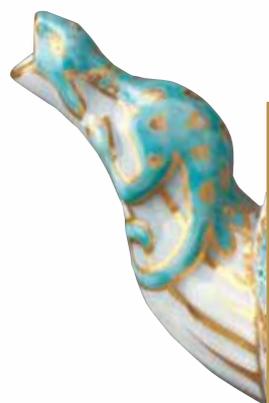
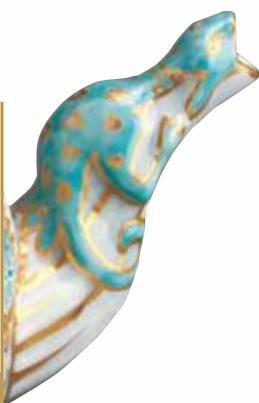
ハンガリーの名窯

特別展

Herendi porcelán Magyarországról

# ヘレンド

日本と中国に魅了された  
ヨーロッパ磁器



2017. 4. 8 (土) ~ 7. 30 (日)

大阪市立東洋陶磁美術館

*The Museum of Oriental Ceramics, Osaka*

休館日：月曜日(5/1、7/17は開館)、7/18(火)

◎開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) ◎観覧料：一般1,200(1,000)円、高校生・大学生700(600)円  
※( )内は20名以上の団体料金 ※中学生以下、障がい者手帳などをお持ちの方(介護者1名を含む)、大阪市内在住の65歳以上の方(要証明は無料)

◎主催：大阪市立東洋陶磁美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会 ◎後援：ハンガリー大使館

◎協賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、清水建設、非破壊検査 ◎協力：☎ Lufthansa Cargo ◎企画協力：アートインプレッション

同時開催：[平常展]安宅コレクション中国陶磁、安宅コレクション・李秉昌コレクション韓国陶磁、日本陶磁、沖正一郎コレクション鼻煙壺



①



②



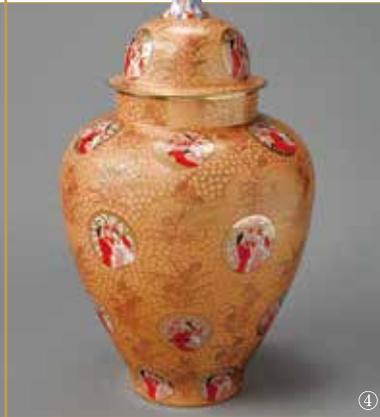
③

## ハンガリーの名窯 ヘレンド

1826年、ハンガリー南西部の小さな村ヘレンドで、磁器の生産が始まりました。先行のマイセン窯やウィーン窯などの傑作に学んで高い水準に達したヘレンド窯は、ほどなくして「オーストリア帝室・ハンガリー王国御用達窯」として認められるまでになります。

1851年のロンドン万国博覧会では、ヴィクトリア女王からディナーセットの注文を受けたのを機に、一躍その名をヨーロッパ中に広めました。その後もヘレンド窯は、東洋磁器に学んだ独自の様式を生み出して毎回の万国博覧会で受賞を重ね、高い評価を保ち続けます。時流が大量生産へと向かう19世紀末、手作業にこだわり常に最高のものを目指したヘレンド磁器は、ヨーロッパの多くの王侯貴族や新興富裕層に愛され、名実共にハンガリー芸術を代表する存在となり、今日に至っています。

本展では、ブダペスト国立工芸美術館、ヘレンド磁器美術館、ハンガリー国立博物館などが所蔵する約230点の作品により、ヘレンド窯190年の歴史とその魅力をご紹介します。



④



⑤



⑥

**記念講演会**  
**「中国と日本の磁器に魅了されたヨーロッパ：ヘレンドの磁器芸術」**  
 講師：ガブリエッラ・バッラ氏  
 (ブダペスト国立工芸美術館陶磁器ガラスコレクション部長 チーフ・キュレーター、美術史家)  
 日時：2017年4月8日(土) 14:00~16:00(13:30より開場)  
 場所：当館地下講堂  
 定員：70名 事前申込制(申込締切2017年3月25日(土)必着)  
 ※参加無料(本展の観覧券をご提示ください)  
 ※お申込み方法とご注意  
 ・往復葉書に住所・氏名・電話番号を明記の上、東洋陶磁美術館「記念講演会」係まで郵送ください(葉書1枚につき1名様有効)。  
 ・応募者多数の場合は抽選となります。  
 ・お申込みの際にご提供いただく住所・氏名などの個人情報は厳重に管理し、本事業の実施ならびに事務連絡以外には使用いたしません。

**見どころ解説**  
 学芸員による見どころ解説を下記日程で、当館地下講堂にておこないます。  
 4月15日(土)、4月29日(土・祝)、5月13日(土)、5月27日(土) いずれも14:00より  
 6月10日(土)、6月24日(土)、7月8日(土)、7月22日(土) 約30分(13:45開場)  
 ※参加無料(本展の観覧券をご提示ください)



【交通】京阪中之島線「なにわ橋」駅下車すぐ、地下鉄御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」、地下鉄堺筋線・京阪本線「北浜」各駅から約400m、大阪市中央公会堂東側  
 【お問合せ】大阪市立東洋陶磁美術館  
 〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26  
 電話06-6223-0055 Fax06-6223-0057  
<http://www.moco.or.jp>

**moc** The Museum of Oriental Ceramics, Osaka  
**大阪市立東洋陶磁美術館**

表面：色絵金彩花卉獅子飾り蓋八角壺 1890年頃 個人蔵／色絵金彩「皇帝」文コーヒーセット 1860年頃 布ダペスト国立工芸美術館／色絵金彩「ウエーブルズ」文断腸飾りティーセットのうちポット 1874年 布ダペスト国立工芸美術館／色絵金彩「ハンガリアン・ナショナル」文皿 1896年頃 個人蔵／裏面：①色絵金彩「パルトンフェルト風景」図コーヒーセット 1860年代 布ダペスト国立工芸美術館 ②花卉形鉢 アーコシュ・タマーシュ 1990年 布ダペスト国立工芸美術館 ③色絵金彩「ヴィクトリア」文ティーセットのうち菓子皿 1850年頃 ヘレンド磁器美術館 ④色絵金彩「京都」文獅子飾り蓋壺 1890年頃 布ダペスト国立工芸美術館 ⑤「仕草」シリーズ 褐彩壺 ラースロー・ホルヴァート 1997年 布ダペスト国立工芸美術館 ⑥色絵金彩「ゲデレー」文ティーセット 1875年頃 布ダペスト国立工芸美術館